

公開講座 第34回心身症セミナー 報告

先に実施しました公開講座「心身症セミナー」について下記のとおり報告します。また、あわせてご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた皆様に心よりお礼申しあげます。

1 第34回心身症セミナーの概要

日時 令和4年11月7日(月) 午後2時10分から5時00分

場所 大阪府教育センター

対象 府内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、支援学校の教員及び教育関係者

内容 テーマ「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

(1) 実践報告「学校における不登校支援」

和泉市立和気小学校 教諭 川崎 育臣

堺市立中百舌鳥小学校 教諭 杉本 弥生

川崎教諭からは、まず自身が関わってきた不登校の子どもの乗馬教室の実践や効果についてのお話があった。続いて、勤務校のケース会議「NS委員会」における不登校児の発見・対応システムや、不登校児の実際の支援についての説明があった。

杉本教諭からは、勤務校に設置されている「子ども支援委員会」での、一人一人に合わせた登校支援の実際についての話があった。その中で、支援に本人・保護者・担任の思いを取り入れていく重要性について述べられていた。

(2) 「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

堺咲花病院 心身診療科医師 村上佳津美

まず心身症について『①精神疾患ではない②身体の病気である③子どもは、なりやすい』の3点の説明があった。続いて心身症の診療の実際や所見、改善過程などのお話があった。その後起立性調節障害、過敏性腸症候群などの具体的な疾患について、症状、治療、配慮点を含めて解説があった。最後に現在関わっている「思春期こころの健康検診」で、心身症ハイリスク児を医療機関につなげる取り組みの実際についての説明があった。質疑応答では、保護者へのアプローチの方法や、教育と医療の連携に関する質問が出た。

2 アンケート結果報告 (アンケート回収43名、未回収0名、回収率100%)

(1) 参加者について

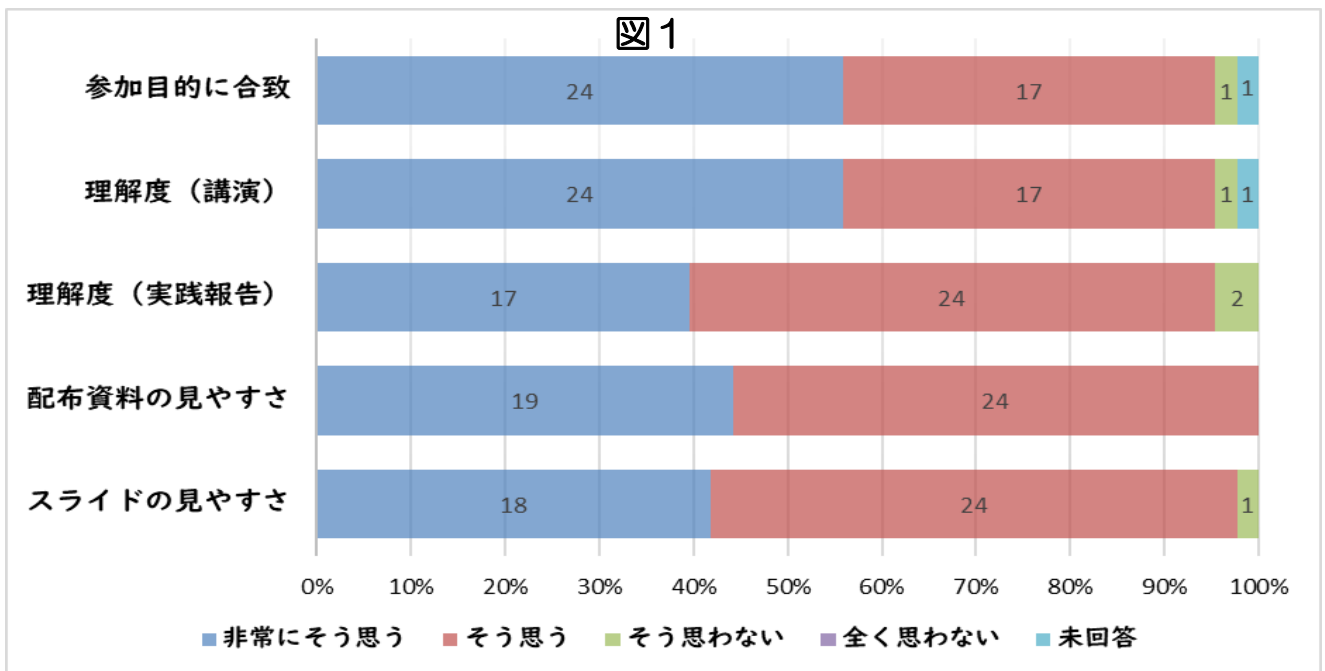
外部から43名(幼・保0%、小学校56%、中学校35%、高等学校0%、支援学校2%、その他・未回答7%)の参加があった。

職種では、教諭・講師が最も多く51%、次いで養護教諭・助教諭が28%、管理職が14%、その他・未回答が7%であった。

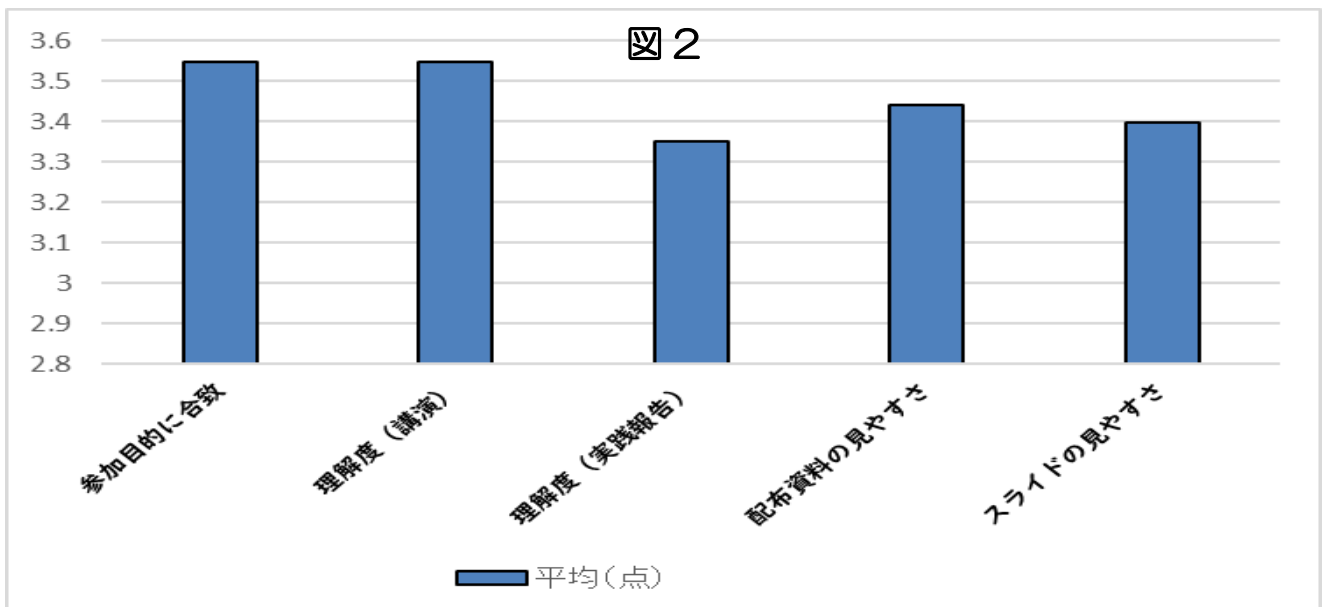
所属 (人)	幼・保	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	未回答	合計
	0	24	15	0	1	2	1	43

職種 (人)	管理職	教諭・講師	養護教諭・助教諭	その他	未回答	合計
	6	22	12	3	0	43

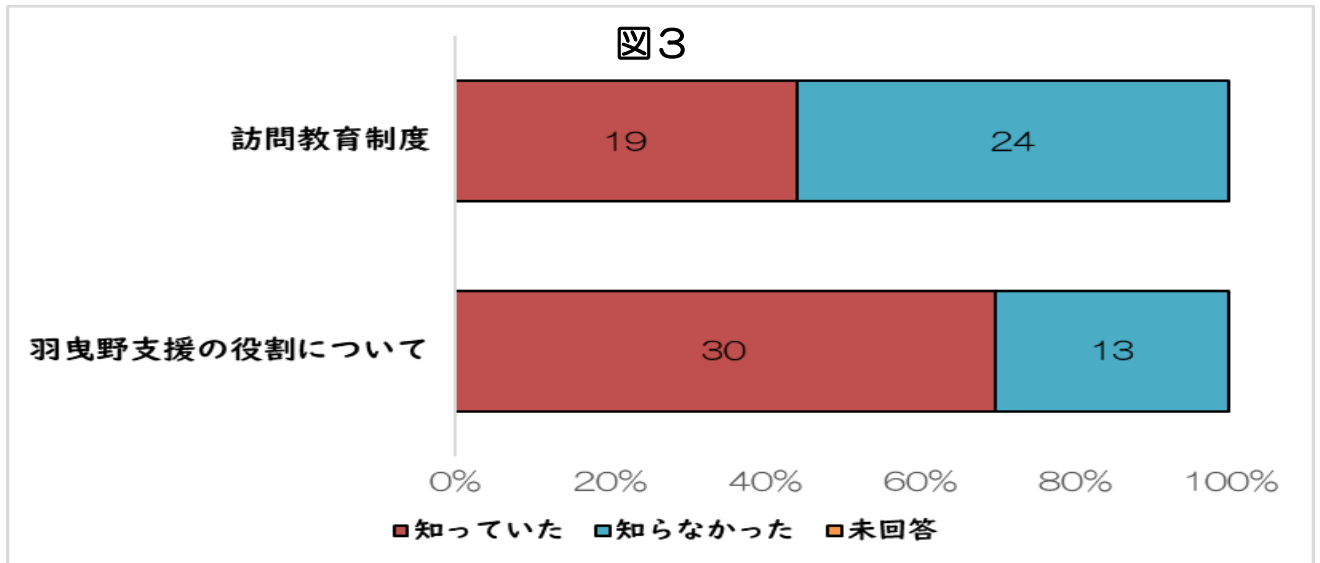
(2) セミナーの内容について



アンケートを4点法で集計。平均2.5点以上が肯定的評価である。



(3) 羽曳野支援学校の役割と訪問教育制度について



3 考察とまとめ

(1) 前回コロナの影響で、中止となり、一年ぶりの開催となった。新型コロナウイルス感染症予防のため、募集人数を100名から50名に減らして実施した。今回も、募集人数が一日で埋まり、不登校を伴う心身症の子どもたちに対する関心の高さがうかがえた。

(2) 図2では、どの項目についても3点を超えており、好評であった。

(3) 質疑応答では、保護者へのアプローチの方法や医療と教育の連携など、子どもの環境を整えていく方向性について話が広がった。